

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームの理念に基づいた実践について会議等で話し合ったりする機会が少なく、理念を把握したうえで支援を行っているか、振りかえる機会が少ない。	職員全員が何も見ず、ホームの理念を言うことができる。	・職員のロッカー室に理念を掲示し、周知する。 ・毎月のホーム会議の議題に、理念を意識して支援ができていないか聞く。 (できた場合は具体例、出来ていない場合にはどのようにしたらできるか、を話し合う)	6ヶ月
2	35	防災訓練は年2回にとどまっておらず、全職員が参加できていない。また防災備蓄の整備も遅れている。	2022年中に防災備蓄(水・食料・防災頭巾・ヘルメット)を揃える。	・全家族様に防災頭巾購入のお知らせを行う。 ・水と食糧(18名+6名)の3日分を購入	6ヶ月
3	4	運営推進会議は書面開催で行っており、参加者からの意見をどのように運営に反映しているのか分かりにくく、同じ意見をいただく時もある。	歯科医から提案のある勉強会を実施する。	・職員が感じる口腔ケアや食事の課題の聞き取りを行う。 ・職員、入居者が聞く事ができる口腔ケアや事の勉強会を訪問歯科と日程調整する。	6ヶ月
4	14	同業者との交流を通じた向上は、コロナ禍で積極的にできていない。そのため、自分のホーム以外の支援などに触れる機会がない。	認知症対応型共同生活介護以外の事業所の見学や体験学習を行う、および受け入れる。	・協力機関である、社会福祉法人穩寿会と話し合いを進め、オンライン見学などできることから始める。	10ヶ月
5					ヶ月